

令和6年度 京都市立神川小学校 学校経営基本構想

【学校教育目標】



自ら学び 共に高め合い 自分の将来を切り開く子の育成 ～ 喜んで登校 満足して下校 ～

【育てたい 資質・能力】 ◇ 自ら学ぶ力 ◇ コミュニケーション力

【目指す子ども像】

か

かがやく子 (心身共に健康で、明るく意欲的に活動する子)

み

みんなで力を合わせる子 (同じ目標に向かって努力し、協力する子)

か

感謝と思いやりの心をもつ子 (人や自然、ものへの感謝と思いやりの心をもつ子)

わ

わかった、できたを目指す子 (めあてをもって、粘り強く学習する子)

【目指す学校像】

- ◇ わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる学校
- ◇ 自分が認められ、安心して生活できる学校
- ◇ 信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校
- ◇ 家庭・地域と連携し子どもを育てる学校

【目指す教職員像】

- ◇ 一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ◇ プロ意識と責任感をもって自ら行動する教職員
- ◇ 自己研鑽に励み、自らを高めようとする教職員
- ◇ 「チーム神川」の一員として協働する教職員

《確かな学力の育成》

- わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業の構築
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - ・問題解決的な学習や体験学習の充実
 - ・めあてとまとめ・ふりかえりの徹底
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
 - ・言語活動の充実　・ICTの活用
 - ・基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 若手実践道場の推進
- 学習集団作り
- 「地域」をテーマにした総合的な学習の時間の推進
- グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- 支援を必要とする児童への指導体制の構築
- 日々の授業と家庭学習の連動（自学自習の習慣化）

《豊かな心の育成》

- 道徳教育の充実
 - ・「特別の教科 道徳」の推進
- 豊かな感性の醸成（伝統文化や芸術の取組）
- 発達支持的生徒指導の推進と規範意識の作成
 - ・児童理解と見逃しのない観察
 - ・心の通った指導　・手遅れのない対応
 - ・自己指導能力の育成
(生徒指導の実践上の4つの視点)
- 人権教育の充実
 - ・「なかまの日（人権学習）」の取組の実践
- 児童会活動・たて割り活動の充実
- キャリア・パスポートの実践

《健やかな体の育成》

- 運動・スポーツの楽しさや喜びを味わえる体育学習や部活動の工夫と実践
- 命を守り育む安全教育の充実
- 防災教育の充実
- 運動能力の向上
- 食に関する指導の推進
- 飲酒・喫煙・薬物に関する指導の推進

《家庭・地域との連携の推進》

- 学校運営協議会の推進
- コミュニティ・ティーチャー（地域人材）の協力と発掘
- 学校評価
- 学校だより・ホームページ等による情報発信

《校種間連携の推進》

- 神川中学校ブロック連携の推進
 - ・合同研修　・学力向上　・部活動体験
 - ・一斉挨拶運動
- 保幼小中児童館連携の取組の推進